

市民の森スケート場の廃止方針（案）について

令和5年4月 上田市

1 背景

上田市では、本格的な人口減少社会を迎え、生産年齢人口の減少などに伴う税収減、少子高齢化の進行に伴う社会保障関連経費の増大が見込まれる中で、将来にわたって持続可能な行財政運営を行っていく必要があります。そのためには、公共施設の適切な維持管理はもちろん、総量の縮減、統廃合による施設の集約化や複合化、耐震化、長寿命化、民間活力の導入などを、全市的な資産の管理と利活用という視点で検討する「公共施設マネジメント」の取組が必要なことから、2016年（平成28年）3月に「上田市公共施設マネジメント基本方針」を策定しました。

また、上田市では生涯スポーツ社会の実現に向けた様々な施策を展開していますが、スポーツ施設の利用者は、人口減少や少子高齢化等、社会経済構造が変化する中で減少傾向が続いており、今後も大幅な増加を見込むことは難しいと考えられます。

こうした課題に対応し、市民の皆さんに適切なスポーツ環境を継続して提供するためには、長期的な視点に立ち、計画的な整備に取り組む必要があることから、2018年（平成30年）3月、「上田市スポーツ施設整備計画」を策定し、各施設の整備方針を明確にしました。

2 現状と課題

市民の森スケート場は、昭和60年の開設以来、ウィンタースポーツを楽しむ場として多くの市民に利用されてきましたが、利用者は減少傾向にあり、使用料収入も減少しています。利用者減少の理由は、少子化、余暇活動やレジャーの多様化、近隣市町のスケート施設の充実といったことが考えられます。

管理運営経費については、温暖化の影響によるスケートリンク維持のための電気使用量の増加、電気料金や燃料費の高騰、施設や機械設備の老朽化による修繕費の増加等の理由により、負担が年々大きくなっています。

また、老朽化が著しい施設や機械設備の更新には多額の費用が見込まれ、特に機械設備については、低濃度PCBの処分期限が迫っていることや、冷凍機の冷媒に使用しているフロン製造禁止により、大規模な更新が必要となります。

一方で、体育館など、市民の皆さんから要望の多い施設の整備や、令和10年開催の長野国民スポーツ大会を控え、様々な事業を展開していく必要があることから、それらの財源の確保も大きな課題となっています。

これらのことを踏まえ、市民の森スケート場の今後のあり方について、共同運営している東御市と協議を進めてまいりました。

3 基本方針

- ・令和5年度の営業をもって市民の森スケート場を廃止します。
- ・令和6年度以降、上田市単独でゴーカート場の営業を継続します。

<参考資料>

1 施設の概要

項目		内容
所在地		上田市芳田 3780 番地 85
建設年度		昭和 60 年
施設の内容	面積	4,208 m ²
	外リンク	1 周 240m
	内リンク	30m×60m
	管理棟	800 m ² （トイレ、休憩所、食堂など）
営業期間 (令和 4 年度)	スケート場	12 月 17 日から 2 月 5 日まで (12 月 31 日・1 月 1 日を除く)
	ゴーカート場	4 月 9 日から 10 月 10 日までの土日祝日 8 月 15 日・16 日（特別営業）
使用料	一般	1 回につき 760 円
	小中学生	1 回につき 300 円
	未就学児	無料
貸靴		1 人 400 円（委託業者による業務）
運営方法		・上田市、東御市の 2 市で「市民の森スケート場 運営協議会」を設置し共同運営 ・運営経費は協定で定めたルールにより負担

2 利用者数・使用料の推移

	平成 5 年度	平成 15 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和 4 年度
利用者数（人）	82,728	30,453	34,972	30,852	37,514
スケート	23,927	18,248	17,834	13,905	11,823
ゴーカート	58,801	12,205	17,138	16,947	25,691
使用料収入（円）	13,527,600	5,740,800	6,173,450	5,338,000	6,230,200
スケート	7,647,500	4,392,800	4,387,150	3,623,400	3,441,370
ゴーカート	5,880,100	1,348,000	1,786,300	1,714,600	2,788,830

- ・スケート場の利用者数は減少傾向にあります。
- ・利用者数の減少に伴い、使用料収入も減少しています。
- ・ゴーカート場の利用者数は近年増加傾向にあります。

3 管理運営経費の推移

	平成 5 年度	平成 15 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和 4 年度
管理運営経費（円）	25,423,308	28,714,455	32,123,105	36,651,953	39,200,000
うち光熱水費	4,305,785	10,224,000	10,415,146	12,606,224	17,200,000
上田市負担分（円）	7,998,602	23,155,777	19,689,869	24,021,565	26,000,000
東御市負担分（円）	1,901,398	5,313,104	5,873,964	6,978,809	7,000,000

- ・電気料金の増加が管理運営事業費を増加させる大きな要因となっています。
- ・令和 4 年度は見込額。

4 過去の改修工事等（1,000 万円以上）

年度	内容	金額（千円）
平成 11 年度	リンク冷却管更新工事 等	22,000
平成 12 年度	冷凍機用エンジンモーター化工事、電気設備工事 等	86,100
平成 13 年度	冷凍機増設工事 等	88,935
	暗渠排水工事、リンク外周擁壁工事	17,540
平成 14 年度	暗渠排水工事、リンク外周擁壁工事	42,987

- ・平成 11～14 年に、冷却管更新、冷凍機増設等、大規模改修を行いました。
- ・平成 15 年以降、大規模改修は行われていません。

5 今後見込まれる改修工事等

内容		概算金額 （千円）
P C B 含有変圧器 更新工事	令和 8 年度末までに低濃度 PCB の処分が必要となるため、対象となる変圧器の更新が必要。	6,000
冷却設備更新工事	令和元年度末に冷媒に使用しているフロンが製造禁止。今後、補充用冷媒の入手が困難になることから、冷凍機の更新が必要。	400,000
冷却管取替工事	平成 11～13 年に工事实施。更新が必要。	
変圧器更新工事	平成 13 年増設の冷凍機に係る変圧器の更新が必要。	7,000
ピット部木工事	平成 12 年に工事实施。複数の破損個所があり危険。	11,000
管理棟大規模改修工事	老朽化により破損、雨漏りあり。漏電の危険。	176,000
合計金額	【負担額目安】 上田市：483,600 東御市：116,400	600,000

- ・スケート場を存続した場合、変圧器や冷凍機、冷却管の更新が必要となります。

- ・利用者の安全確保の観点から、ピット部や管理棟の改修も必要となります。

6 市民アンケート結果

	上田市	東御市
実施年度	令和2年度	令和2年度
回答数／送付数（無作為抽出）	559／1,500	622／2,000
「存続希望」の回答割合	16.6%	13.7%
「廃止は仕方ない」の回答割合	55.6%	54.7%

- ・無作為抽出により、市民に対しアンケート調査を実施しました。

7 小学校意向調査結果

回答	回答数
スケート教室を市外で継続	6
スケート教室は廃止、別の行事を検討する	10
スケート教室は廃止、別の行事は検討しない	5
検討中	2
スケート教室を実施していない	2

- ・上田市内小学校（25校）に対し、スケート場が廃止となった場合、スケート教室をどうするか意向調査を実施しました。